

傍聴席からひとこと

「堂々とした町政推進の

ビジョン演説を！」

No. 41



佐々木 建彦さん
豊間根・67歳

一連の不祥事に対する後手対応の議会運営および本格的に復興年度を迎えての町政方針、さらには新規事業について本議会でのような討議が行われるのか期待して臨んだ。

議員の皆さま方が積極的にかつ行動的に町政発展に對するいろいろな角度から取り組みや活動をしている姿勢が強く感じられた。
しかし、全国から応援をいただいている派遣職員の方やボランティアの皆さまに對し、心から感謝の言葉を表してから一般質問を行ってもいいのではないかと思われた。
また、質問事項の件数が多く、その説明に時間を要し、

何を優先順位に質問をしようとしていたのか、傍聴している住民には理解できない場面も多かった。

本来本会議は討議する場であり、主体的に物事を決めなければならぬ場であることから、住民との対話の場を構築しなければならぬ。

年度スタートの3月本会議は、予算・決算委員会とは異なり、持ち時間を有効活用して町政推進のためのビジョンを堂々と演説してほしい。意外と効果があるものだ。議会が活性化すれば町も活性化し、さらには職員の意識向上効果も表れる。
ゆえに住民と議会との距離を縮めることとなる。

一日でも早い復興を願い、党派を超えて横断的連携に努め、安心して暮らせる美しい町づくりと人づくりを期待したい。

議員の出欠状況

(25年12月定例会後から26年第3回臨時会までの定例会、臨時会、予算特別委員会、常任委員会、議会広報編集特別委員会) ※紙面の関係から、活動の一部を抜粋して掲載しています。

議員名		木村	黒沢	田村	阿部	尾形	豊間根	佐々木	坂本	山崎	本木	阿部	吉川	稲川	昆
		洋子	一成	剛一	吉衛	英明	信	良一郎	正	泰昌	敏明	幸一	淑子	勝憲	暉雄
1月9日	議会広報編集特別委員会	○	○	△	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
17日	議会広報編集特別委員会	○	○	△	△	○	△	○	欠	△	○	○	○	○	○
24日	第1回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
2月12日	第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月20日	第1回定例会	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
3月3日 ~7日	第1回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3日	教育民生常任委員会	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	産業建設常任委員会	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
4日	総務常任委員会	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
10日	予算特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12日	予算特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13日	予算特別委員会	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	△	○	○	○
14日	予算特別委員会、第1回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26日	第3回臨時会	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○

□…公務欠席 ◇…病気(通院、入院等)欠席 欠…自己都合欠席 △…遅刻早退 /…委員外 ◎…委員外出席

議会広報編集特別委員会

議長	昆 暉雄
副議長	黒沢 一成
委員	山崎 泰昌
委員	尾形 英明
委員	坂本 敏明
委員	木村 洋子

▼未曾有の東日本大震災からはや3年の月日が流れた。地震、津波被害を受けた避難者は、多くの家族が離れ離れで孤独に仮設団地で暮らしている▼町は26年度一般会計当初予算案を発表した。総額481億9663万円で、過去最高だった25年度当初予算を265億8790万円下回った。東日本大震災の復旧・復興対応分は160事業411億6千万円(前年度当初比40.2%減)。がれき処理などの完了に伴い、大幅に減った。25年度比では減額だが、26年度は過去2番目の規模であり、大型予算が続く▼私は五輪開催の影響で被災地の労働者と建設資材が不足するのではと懸念しており、山田町の復旧・復興が遅れないことを祈ります。(坂本)

あ
と
が
き